

練馬区健康づくり総合計画(素案) に対する区民意見・質問の概要について

1. 素案に対する意見

No.	内容(要旨)
計画全体について	
1	計画の策定にあたり、区の特徴を活かした事業を検討できないか。また、事業を進めていくにあたり、区民との連携や啓発に力を入れていただきたい。
2	計画の評価としてPDCAサイクルを活用するとあるが、Check(評価)の中に区民からの評価を入れてほしい。
3	保健師をはじめ、健康行政に携わる職員の資質を向上させてほしい。
4	全体に使われている「連携」というあいまいな言葉を、より具体化してほしい。
I 生涯を通じた健康づくりの推進	
5	児童生徒の健康づくりの主要事業である「歯科指導の充実」の中に「関係機関との連携」と記載されているが、具体的な内容を示してほしい。
6	「こんにちは赤ちゃん事業」(乳児家庭全戸訪問事業)は、民間のボランティア等に任せず助産師や保健師で実施して欲しい。
7	障害を持った方は家に閉じこもりがちなので、保健師には、もっと地域に出てきてほしい。
8	歯科健診などの学校で行われる健康診断を通じて、児童虐待などの兆候を早期に発見するとともに、関係機関との連携を密にしてほしい。
9	「スクールカウンセラー」は、現在、小学校7校の配置とあるが、十分な人数なのか。今後の増加の必要性は考えていないのか。
10	健康づくりサポーターとして活動しているが、「運動」と「食」を一緒に行う機会を増やしてほしい。
11	サポーターの養成だけでなく、活動する場を広げてほしい。
12	生活習慣病予防のために、健診による該当者・予備群の早期発見と適切な保健指導の徹底を実施してほしい。
13	科学的根拠のあるがん検診を推進するとともに、精度管理を向上させてほしい。

No.	内容（要旨）
14	「子宮頸がん予防ワクチン接種事業」では、ワクチン接種だけでなく、中学3年生に子宮頸がんとは何か、また20歳からのがん検診の必要性についての学習機会を設けてほしい。
15	がん患者（家族を含む）の会の設立など、遺族を支援する事業を立ち上げてほしい。
16	がん予防に関する勉強会等の啓発事業を実施してほしい。
17	「こころの健康づくりの支援」の主な事業の「家族教室」で、家族同士が悩みなどを話し合うピアカウンセリングの機会やNPO等との連携を検討してほしい。
18	区民が自主的に行う公園や河川敷での早朝ラジオ体操に、公的助成をしてほしい。
19	練馬区では、特別養護老人ホームの入所にあたり独自のポイント制によって入所基準が決められている。家族が少しでも介護している高齢者の場合には、最高レベルの障害に達しても入所できない。早急にこのポイント制を改善してほしい。
II 食育の推進	
20	食育を学校教育に取り上げてほしい。
21	学校給食を始めとする食育の場においては、可能な限り「トランス脂肪酸」を除去することを目標にしてほしい。 （注：トランス脂肪酸とは、一般には動脈硬化を起し難く体に優しいといわれている不飽和脂肪酸のこと。しかし、近年になり、トランス脂肪酸が心疾患に悪影響を及ぼすことが明らかとなった。）
22	練馬区は畑がたくさんあるにもかかわらず、区民の野菜の摂取量が少ないという。何か対策を考えてほしい。
23	20歳から30歳代の女性のやせにはどのようなアプローチを行っているのか。
24	高齢者の孤食という問題に対しては、計画の「食のほっとサロン」事業だけでは実施場所が少なく孤食高齢者のほんの一部が救われるだけではないか。高齢者が歩いて集まれるきわめて狭い地域に、食堂のような場所を区が設置してほしい。
25	「食育実践チェックシート」の使い方がわかりにくい。費用対効果を考えると見直したほうがよいのではないか。
26	「食育実践チェックシート」は好評であり、町会の回覧板を利用するなどしてPRしてほしい。
27	学校の空き時間に家庭科室を開放して、料理教室を開催してほしい。

No.	内容（要旨）
28	地場産物を購入しやすくする事業を実施してほしい。
IV 安心して医療を受けられる環境の整備	
29	練馬区内の病床数は板橋区に比べても、都内全域で見ても非常に少ない。できる限り早急に増やして欲しい。
30	病気の予防意識を広げるとともに、病気になれば医療を受けることができる環境を整えることが必要である。また、施設サービスから在宅サービスへと重点を移してほしい。
31	地域の関係医が交代で時間外診療を担当する「在宅当番制」を導入してほしい。
32	練馬区内に、がんの専門病院を建設してほしい。
33	急性期よりも、高齢者や回復期の病人を受け入れる病院の病床数を増床してほしい。

2. 素案に対する質問

No.	内容（要旨）
計画全体について	
1	現行計画と次期計画の違いを教えてください。
2	次期計画では、特に何に力をいれるのか。
I 生涯を通じた健康づくりの推進	
3	「今、自治体で保健師の人数が減らされている」と聞くと、練馬区の場合はどうなのか。
4	「こころのふれあい相談員」とは、どういう方が担当しているのか。
5	支援が必要な児童生徒への対応を行う「巡回相談員」とは、どういう方が担当しているのか。
6	「成人の健康づくり」の現状と課題に、「特定健康診査の受診勧奨」とあるが、どういった勧奨策を検討しているのか。
II 食育の推進	
7	「食育実践チェックシート」はどこに配布しているのか。